

奈良体育学会会報

第 87 号 発行 奈良体育学会

事務局：天理大学 体育学部 寺田和史研究室（〒632-0071 天理市田井庄町 80）

<https://nspehss.org/> narajimukyoku@nspehss.org

ご挨拶：奈良体育学会大会開催にあたって

奈良体育学会 会員の皆様へ

奈良体育学会 会長 中谷敏昭

晩秋の候、会員の皆様には時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。平素は奈良体育学会の活動にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

さて「令和2年度体育学会大会」のご案内をさせていただきます。すでにお伝えしておりますように、今年度は例年通りの方法ではなく、Web上で開催させていただくこととなりました。シンポジウムは「新型コロナウイルス感染症の影響下における体育・スポーツのあり方について考える」をテーマとして、各領域の5名のシンポジストに、コロナ禍の状況における体育・スポーツ活動の状況や現在行われている対策、この状況をどのように考えればよいか、そして未来についてなど、多面的にお話を伺います。今回、会員の皆様には初めての試みであるオンデマンドによる動画配信での視聴により、シンポジウムにご参加いただくこととなります。是非とも大会参加により、新たなチャレンジに対してのサポートをいただけますと幸いです。

一般演題は11題が予定されています。こちらも初めての試みであるポスター発表、しかもWeb上で、となりますが、ポスター発表には口頭発表には無い良さもあります。ご質問やコメントをいただくこともできますので、こちらも是非この機会にご経験いただけましたらと存じます。

新しい生活様式が浸透しつつあるものの、これまで通りに物事が運ばず、まだまだ不自由な毎日ではあるかと存じますが、会員の皆様には万障お繰り合わせの上、ご参加下さいますようお願い申し上げます。

令和2年度奈良体育学会大会のお知らせ

期 日： 令和2年11月21日(土)～11月27日(金)

会 場： Web開催 奈良体育学会 HP <https://nspehss.org/> 【新設】内の特設ページ

参加申込方法

奈良体育学会 HP から申込ファイル「奈良体育学会大会参加・発表申込ファイル」をダウンロードし、必要事項を記入の上、**11月17日(火)17:00(1日延長しました)まで**に、下記メールアドレスまで添付ファイルにて送信してください。**一般会員1,000円、学生500円**を、申込と同時に下記口座にお振込みください。参加費の振込が確認できた方には、後ほど大会専用ページへのログインパスワードをお送りします。なお、今年度より全会員への研究年報の冊子での配布は取りやめることになりましたが、参加費をお支払いいただいた会員には、今回に限り印刷された冊子による研究年報をお送りする予定です。

☞ **学会大会申し込み(参加・発表)ページ** <https://nspehss.org/taikai/taikaiform>

☞ **令和2年度奈良体育学会大会専用メールアドレス** 2020taikai@nspehss.org

☞ **郵便振替・口座番号：(当座) 01000-2-28169 <加入者名:奈良体育学会>**

総会について

新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、紙上開催といたします。議題及び資料については、先にお送りした会報第86号に同封の別紙をご覧ください。奈良体育学会会則第10条に「通常総会は毎年1回開催し、当日の出席会員をもって構成する」とありますので、学会大会参加申込者のみ、メールでの賛否の投票を

行っていただきます。投票方法につきましては、参加申込確認のための事務局からの返信メールにてご案内いたします。必要な方には賛否理由やご意見についても記載していただきます。審議結果については学会 HP 及び会報で公表し、いただいたご意見等は理事会でとりまとめ、必要と考えられる場合には氏名非公表で学会 HP 等に公開させていただくことがあります。

大会プログラム

1. 一般発表：Web ポスター閲覧形式
2. シンポジウム：オンデマンド動画視聴形式

<一般発表> Web ポスター閲覧形式

1 奈良県における総合型地域スポーツクラブの自立的な運営に関する研究

○粟飯原真央（奈良教育大学大学院）

キーワード：総合型地域スポーツクラブ、自立的な運営

要旨：本研究では奈良県内の成功事例として4つの総合型地域スポーツクラブを取りあげ、その運営方法の特徴を明らかにし、今後の総合型地域スポーツクラブの自立的な運営に向けた課題解決のための示唆を得る。

2 大学キャンプ実習が他者との関わりに及ぼす効果：自由記述レポートによる質的検討

○蓬田高正，北澤太野（天理大学）

キーワード：大学キャンプ実習、他者との関わり、質的検討

要旨：本研究では、専門科目として行われた大学キャンプ実習の参加者を対象に、他者との関わりというテーマで書かれた自由記述レポートの内容を、テキストマイニングによる分析を行うことで、大学キャンプ実習が他者との関わりに及ぼす効果を検討した。

3 中国と日本のスポーツくじに関する比較研究

○王思涵（奈良教育大学大学院）

キーワード：中国、日本、スポーツくじ

要旨：本研究では中国と日本のスポーツくじの比較分析を通し、両国のスポーツくじ導入の背景および運営組織・マネジメントについて比較検討することによって、中国と日本のスポーツくじのシステムの違いを明らかにし、両国の社会や文化の違いに言及することを目的とする。

4 中国における合気道の伝播とその受容についての考察

○熊天宇（天理大学大学院）

キーワード：中国の合気道、文化伝播、受容過程

要旨：本発表では、中国における合気道の伝播とその受容の過程を、中国建国以前・以降、さらに文化大革命時期と改革開放以降の流れの中で明らかにする。特に導入に関わった人物とその活動および、現地での受容の仕方に焦点をあて考察する。

5 伝統スポーツでの極限状態とアクションスポーツのスピリチュアルな特性をめぐって：台湾のチャンゲー(搶孤)の事例から

○豊島誠也（天理大学大学院）

キーワード：伝統スポーツ、アクションスポーツ、チャンゲー（搶孤）

要旨：本研究では、台湾の伝統スポーツ・チャンゲーでのスピリチュアルな特性について考察する。昨今、若者たちを魅了するアクションスポーツでの極限状態と共通するスピリチュアルな特性が、伝統スポーツの新たな魅力として見出されていると考える。本研究では、そうした文化的現象について考察する。

6 日本の体罰問題に関する研究動向

○北澤太野（天理大学）

キーワード：指導者、暴力的行為、教育

要旨：スポーツ指導上の問題のひとつとして、指導者による暴力的行為があげられる。本研究では、指導者による暴力的行為、なかでも体罰に関する文献の分析を通して、日本の体罰問題に対する研究動向を量的に描き出すとともに、今後の研究の方向性を探る。

7 体罰指導に依存する要因に関する考察：体操競技選手の発話を手掛かりに

○松山尚道（天理大学）

キーワード：依存、恐怖心、連鎖

要旨：体罰根絶の必要性は周知のことであるにも関わらず、いまだに体罰の事例はなくなったとは言い難い。本論では体操競技において、体罰を肯定的に捉えているケースについて検討する。そこに内在する体罰指導への依存について、現象学的視座から考察をする。

8 小学校高学年の走り幅跳びにおける踏切指導に着目した学習指導の検討：介入授業の分析を通して

○井上航平¹，歌川好夫^{1,2}，寺田和史^{1,2}，山本大輔^{1,2}，山本樹¹（1 天理大学大学院，2 天理大学）

キーワード：走り幅跳び、踏切指導、跳躍距離

要旨：本研究は、小学年の高学年の走り幅跳びにおける踏切指導に着目した学習指導に関する研究である。2回の介入授業の分析を通して、踏切離地時に鉛直速度の獲得を目指す学習指導の方法を探ることを目的とした。

9 全身動作の運動イメージに関連した脳活動特性の検討

○横田早香¹，中田大貴²（1 奈良女子大学大学院，2 奈良女子大学）

キーワード：脳活動、運動イメージ、NIRS

要旨：器械体操における前転、後転、側転に着目し、近赤外線分光法（NIRS）を用いて、難易度の異なる全身動作イメージ時の脳血流動態を観察し、脳活動特性の検討をすることを目的とした。

10 若年者の伸張－短縮サイクル動作遂行能力の特徴

○國井洸樹¹，寺田和史^{1,2}，中村倭菜¹，岩山海渡^{1,2}，山本大輔^{1,2}，宮井信行³，内海みよ子⁴，中谷敏昭^{1,2}，有田幹雄⁵（1 天理大学大学院，2 天理大学，3 和歌山県立医科大学，4 東京医療保健大学，5 角谷リハビリテーション病院）

キーワード：発育発達、リバウンドジャンプ指数、垂直跳び

要旨：本研究は、小・中学生年代における伸張－短縮サイクル動作遂行能力の特徴について、横断的ならびに縦断的に検討し、その発達の仕方や性による違い、またはどのような身体・体力的特性と関連するか明らかにすることを目的として行った。

11 若年者における反復横跳びと伸張－短縮サイクル動作遂行能力との関係

○中村倭菜¹，寺田和史^{1,2}，國井洸樹¹，山本樹¹，的場弘起¹，宮井信行³，内海みよ子⁴，高橋裕子^{1,2}，有田幹雄⁵（1 天理大学大学院，2 天理大学，3 和歌山県立医科大学，4 東京医療保健大学，5 角谷リハビリテーション病院）

キーワード：瞬発力、リバウンドジャンプ指数、垂直跳び

要旨：本研究は、中学校においても広く用いられる体力テスト項目である反復横跳びが、リバウンドジャンプ指数や垂直跳びのような跳躍能力に代表される、伸張－短縮サイクル動作遂行能力を反映するか明らかにすることを目的として行った。

※発表者は抄録の提出をお願い致します【必須】。

<シンポジウム> オンデマンド動画視聴形式

テーマ：「新型コロナウイルス感染症の影響下における体育・スポーツのあり方について考える」

趣旨：新型コロナウイルス感染症の流行が始まって以来、体育・スポーツを取り巻く環境は大きく変化しました。そこで、このコロナ禍の状況における体育・スポーツ活動の状況や、現在行われている対策、この状況をどのように捉えればよいか、そして未来についてなど、各領域の5名のシンポジストをお招きし、多面的にお話を伺います。また、討論を通じて、この先の体育・スポーツのあり方について考えます。

シンポジスト：

成瀬九美(奈良女子大学) コロナ禍の地域運動指導ボランティアの活動：本学フォローアップ研修会メンバーへの調査から

星野聡子(奈良女子大学) コロナ禍の学生の体力とQOLへの影響：奈良女子大学学生への調査から

中田大貴(奈良女子大学) コロナ禍の体育・スポーツ：心理学的見地から

笠次良爾(奈良教育大学) コロナ禍の体育・スポーツ：スポーツ医科学的見地から

井上邦子(奈良教育大学) コロナ禍の体育・スポーツ：スポーツ文化・身体文化の見地から

座長：

中谷敏昭(天理大学)

以上敬称略

奈良体育学会事務局よりお知らせ

【重要】メールアドレスご登録のお願い

次年度以降の学会からのお知らせや会報の配布等は、原則として電子メールによる配信とさせていただきます。これまでに3回ほどメールをお送りしていますが、いずれも届いていない方につきましては、別途、学会HPから、または直接、学会事務局 (narajimukyoku@nspehss.org) まで、必ずメールアドレス登録のご連絡をお願いいたします。

【研究年報への原稿投稿のご依頼】

奈良体育学会では、会員の皆様からの「奈良体育学会研究年報」への投稿をお待ちしております。学会大会で発表していない論文も、「誌上发表論文」として掲載します。なお、筆頭著者は奈良体育学会会員資格を持つ者に限ります。なお、財政上の理由で、今年度より全会員に対する研究年報の冊子での配布は取りやめます。今後、研究年報は学会HPにアップロードしていく予定です。会員の皆様にはそちらからダウンロードしていただくようお願い致します。また、研究年報巻末に記載の学会活動(会報)、会則、内規等につきましても、今後は学会HPにて閲覧していただく予定です。

締切：令和3年1月29日(金)17時

提出先：電子メール(添付ファイル)による。

奈良体育学会事務局 天理大学体育学部 寺田和史宛 (E-mail: terada@sta.tenri-u.ac.jp)

<誌上发表論文書式>

*A4用紙、40字×40行、一段組、図表ともで4~6枚、上下左右の余白を20mmとしてください。(詳細は過去の奈良体育学会研究年報をご参照下さい。)

*今回より、原稿はWordとそれをPDF形式で保存した2種類のファイル(WordとPDF)にてご提出ください。原稿は、モノクロでご作成ください。また、原則としてPDFファイルに表示されている内容がそのまま年報に掲載されますので、ご提出の前に必ず体裁等をご確認ください。カラー表示をご希望の方は、一部冊子作成の際にカラー印刷にかかった費用を実費徴収させていただくことがありますので、事前にお問い合わせください。論文等は、奈良体育学会研究年報投稿規定ならびに体育学研究(日本体育学会)投稿規定・投稿の手引きに準じてご作成ください。学生・大学院生の方は、必ず指導担当教員等の指導を受けてから投稿して下さい。

<発表抄録書式(今年度の大会発表者用)>

用紙A4で1枚(図表込み)、本文は2段組でお願いします。文字フォントは、タイトル14ポイント、氏名・所属11ポイント、本文は9ポイントで記載をお願いします。また、キーワード(9ポイント)を所属と本文の間に3語で入れてください。なお、原稿作成見本および詳細は下記のURLにあります。その他の原稿の様式、提出方法、提出ファイルの種類等は<誌上发表論文書式>と同様です。

奈良体育学会研究年報用抄録フォーマット: <https://nspehss.org/kenkyu-nenpo>

日本体育学会から自動的に年会費が引き落とされない会員の皆様へ

令和2年度の年会費をお納め下さい。年会費は1,500円です。なお、2年続けて年会費を納入しない正会員は退会扱いとさせていただきます。

【年会費振込先】 郵便振替・口座番号: (当座) 01000-2-28169 <加入者名:奈良体育学会>